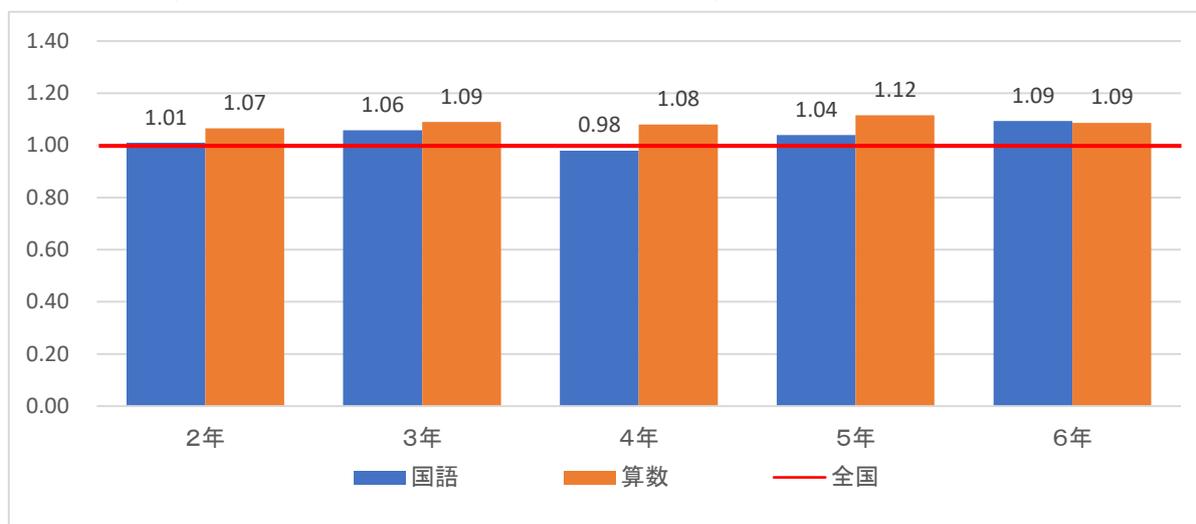


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 友呂岐中学校区 木屋小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	全学年において、全国平均程度、または上回っており、概ね良好な状況である。情報を正確に捉えて、活用する力を育む。
	算数	全学年において、全国平均を上回っており、良好な状況である。作図の経験を増やし、図形について正しく理解させ定着を図る。
全国学力・ 学習状況調査	国語	全国平均を上回っており、良好な状況である。今後の取組として、話し言葉と書き言葉との違いを理解させていく。また、物語文における登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える力を養う。
	算数	全国平均を上回っており、良好な状況である。今後の取組として、速さの意味について正しく理解させ、言葉や数を用いて記述できる力を養う。また教科横断的に、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する場面を設定する。
	質問紙	「自分には、よいところがあると思いますか。」の質問では、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っている。子どもの自己肯定感や自己有用感をより一層高めていきたい。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

校区学力向上部会にて結果分析を行い、成果と課題を明確化して共有・授業改善に取り組む。また、校区で協働して系統的にディベート教育、キャリア教育の充実に向けて取り組んでいく。

【 学 校 】

日々の授業や家庭学習において、漢字の読み書きや計算など、基礎基本がしっかり定着できるよう取り組んでおり、その成果が見られる。その上で、ディベート教育などを通して、課題に対して主体的に考え、他者と対話しながら、「考える力」を育てている。また、校内漢字検定や学期末のまとめテストを行い、一人ひとりの達成状況を確認しながら学習を進めている。